

日本画像学会  
2022年度 第65回定時総会

2022年6月22日(水)  
13:00-13:50  
Zoomオンライン会議



# 2022年度 定時総会 進行次第

(2022年6月22日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2022年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2021年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2021年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2022年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

# 日本画像学会 第65回定時総会

2022年6月22日(水)13:00-13:50

## ■ お願い

- ✓ 表示名を, 「中山信行」, のように「姓名」に設定していただくようお願いいたします.
- ✓ 参加記録のため, チャットに, ホスト宛てで, お名前の記載をお願いいたします.
- ✓ 発言の際や議決の際は, Zoomの挙手ボタンを使用します.
- ✓ 総会終了後13:50~14:10に表彰式をオンライン開催します. こちらも引き続きご参加をお願いいたします.

# 日本画像学会 新体制について

## 新会長

佐藤 利文

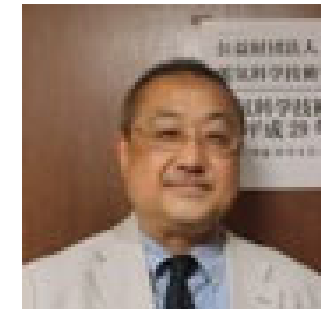
(東京工芸大学)



## 新副会長

小林 範久

(千葉大学)



藤井 雅彦

(慶應大学SFC)

更新予定

# 2021年度 定時総会 進行次第

(2021年6月25日(金) 15:00～16:00)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2022年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2021年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2021年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2022年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



# 2021年度のトピックス

- コロナ禍の中でイベントはオンラインとなる(2020～)
- **ICAI 2021**オンライン開催(10/4-8):参加者141名  
一般講演 54 件、キーノート・招待講演 17 件、合計 71 件  
IS&Tの**Print4Fab**は分離開催(10/12-13)
- バーチャル空間oViceで4DFF2021開催(10/28-29)
- ホームページサーバーの移転

# 会員数の動向

年度	個人会員				法人会員	
	合計	正会員	学生会員	シニア会員	維持会員	口数
2021	731	629	26	57	69	160
2020	802	710	23	53	69	161
2019	913	804	38	46	71	164
2018	913	817	37	38	72	165
2017	941	844	48	28	72	166
2016	927	841	50	13	67	160

一般社団法人



日本画像学会

The Imaging Society of Japan

# 2022年度の予定

- コンファレンス委員会主導でICJ2022開催(6/22-24)  
大会コンセプト: 画像が拓く豊かな共奏社会の創造  
(Enriched Synergic Society Powered by Imaging)  
バーチャル空間コミュニケーションツールoVice活用
- 第3回複写機遺産認定(5月予定)
- ICJ2022Fall(画像関連学会連合会 秋季合同大会)
- 4DFF2022(10/13-14)
- 技術研究会、技術講習会、シンポジウム、Imaging Café、等

# 2022年度 定時総会 進行次第

(2022年6月22日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2022年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2021年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2021年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2022年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



## 定足数と事前投票・本日出席者数の報告

①社員総会の会員数		700
定足数(①÷2)		351
<b>回答結果</b>		
②回答者数(③+④)		424
③メール	更新予定	421
④ハガキ		3
回答内容		
⑤総会出席者数	更新予定	49
⑥欠席者数(⑦+⑧)		375
	⑦議決者数	42
	⑧委任者数	333
回答率(②÷①)		60.6%

- ・既議決者数49＋委任者数375＋本日の出席者数49＝合計473名。
- ・本総会の出席者数は定足数を十分に満たしていることをご報告します。

# 2022年度 定時総会 進行次第

(2022年6月22日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. **第1号議案:2022年度役員案(審議・承認)** 中山
5. 第2号議案:2021年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2021年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2022年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



# 第1号議案： 役員承認

(1/3)

第1号議案  
2022年度役員候補

## (1)2022年度の改選候補（任期:2022年6月－2024年6月まで）

- \*: 前任者任期が2022年度定時総会までのところ任期満了前に退任したため、2021年度から役員代理に就任中の新任候補、もしくは前任者が2022年度定時総会で任期を満了し退任するため新たに推薦された新任候補
- \*\*： 前任者任期が2023年度の定時総会までのところ、2021年度末までに退任したため、その任期を引き継ぐ新任候補
- 無印： 任期が2024年度定時総会までの役員候補（留任希望）

区分		氏名		所属
理事候補	1	佐藤 利文		東京工芸大学
	2	新井 啓之		日本工業大学
	3	石本 文治		セイコーエプソン(株)
	4	梅津 信二郎		早稲田大学
	5	面谷 信		東京電機大学
	6	加川 哲哉	*	コニカミノルタ(株)
	7	河野 信明		キヤノン(株)
	8	木崎 宏恵		三菱ケミカル(株)
	9	坂口 雅敏		ブラザー工業(株)
	10	高橋 茂樹		山形大学
	11	寺尾 博年	**	アルプスアルパイン
	12	中井 洋志	**	(株)リコー
	13	八角 邦夫		(株)ミマキエンジニアリング
	14	藤井 雅彦		慶應義塾大学
	15	前田 秀一		東海大学
	16	三矢 輝章		(株)リコー
	17	南 毅弘		王子ホールディングス(株)
	18	宮戸 健志	*	富士フイルム(株)
	19	渡辺 猛	*	東芝テック(株)
監事候補	1	中居 達		王子製紙(株)
	2	服部 好弘	**	コニカミノルタ(株)

## 第1号議案関連： 役員紹介 (2/3)

(2)2022年度 非改選の役員 (任期:2021年6月ー2023年6月まで)

区分		氏名		所属
理事	20	小林 範久		千葉大学
	21	秋山 勇治		キヤノン(株)
	22	飯野 裕明		東京工業大学
	23	北野 賀久		富士フイルム ビジネス イノベーション(株)
	24	木下 周三		三菱製紙(株)
	25	田中 作白		京セラドキュメントソリューションズ(株)
	26	内藤 裕義		大阪公立大学
	27	直井 宏夫		シャープ(株)
	28	中山 信行		東京工芸大学
	29	宮本 篤生		(株)巴川製作所



# 第1号議案 事前投票結果

第1号議案  
2022年度役員候補

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成	<b>更新予定</b>		
反対			
委任先	議長	332	
	その他会員	1	
	合計	333	

# 2022年度 定時総会 進行次第

(2022年6月22日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2022年度役員案(審議・承認) 中山
5. **第2号議案:2021年度事業報告(審議・承認)** 中山
6. 第3号議案:2021年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2022年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



# 第2号議案 2021年度事業報告

第65回定時総会議案  
2021年度事業報告をご参照ください

下記 5委員会はスライドにて活動報告をします。

1. 編集委員会 (宮本幹事)

2. 技術委員会 (小林副会長)

3. 企画委員会 (中井理事)

4. コンファレンス委員会 (三矢理事)

5. 事業委員会 (木崎理事)

# 1 編集委員会

# 2021年度活動実績

## ■委員会組織・活動（各種活動は基本的にオンライン化）

- ✓ 編集委員会6回開催，特集企画会議開催
- ✓ 学会誌企画・編集，校正，各種WG

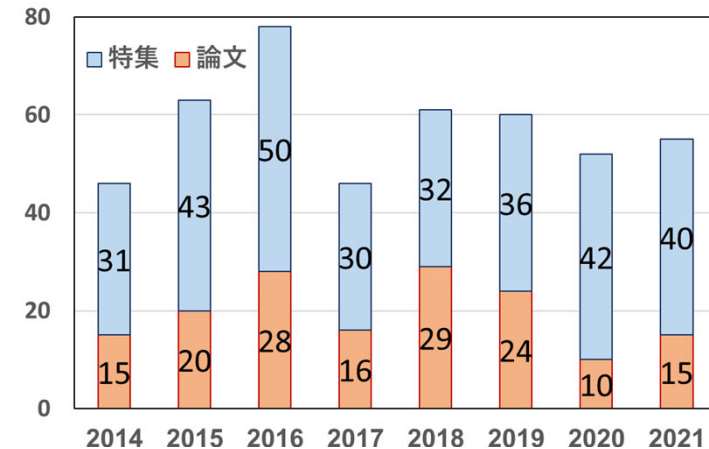
## ■学会誌

- ✓ 年6冊定時発行
- ✓ クラスタ論文特集号の発行（12月号）  
Recent Progress of Advanced Light-Emitting  
Devices and their Applications, 英文解説 6編を掲載

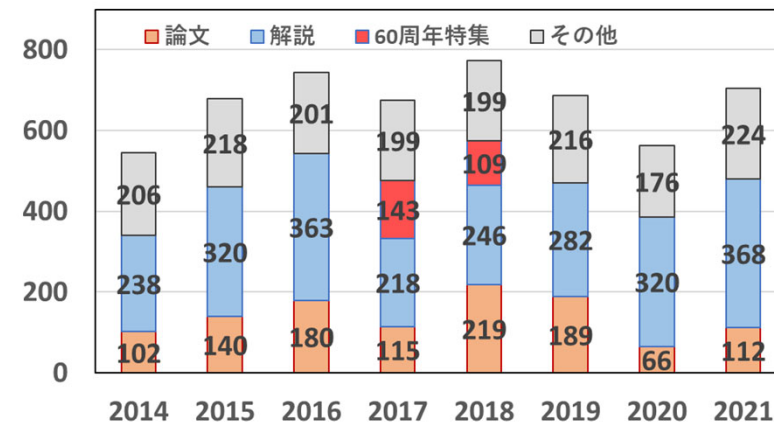
## ■その他の活動

- ✓ フリートーク開催（オンライン）
  - ・第38回「IJの高機能化」，2021/9/17，72名
  - ・第39回「3Dプリンティング」，  
2022/3/14，45名
- ✓ 編集委員長賞選考・表彰
  - ・ICJ2021Spring, ICAI2021
- ✓ 学会誌面面向上の取り組み  
編集・査読プロセスの変更  
（要件確認専任者設置）  
査読候補者の拡充

年度ごとの掲載論文と特集系解説数の推移



年度ごとのページ数内訳



## 2 技術委員会 2021年度活動実績

各部会企画の研究会等 実績(2021年4月～2022年3月)

### ■体制

委員長:小林範久、副委員長:藤井雅彦

主査交代:電子写真技術部会(渡辺靖晃⇒吉田 健)

### ■部会

HPでの部会活動内容紹介, 新領域検討WG立ち上げ

### ■討議・交流

メール主査連絡・会議(4/30, 5/14, 12/21, 1/19)、総会(1/19:参加者??名)開催

### ■複写機遺産

第3回複写機遺産認定3機種認定

### ■技術研究会

第149回(11/18)電子ペーパー/フレキシブル技術研究会 第150回(11/26)MBDトナー技術研究会

第151回(2022. 02/04)電子写真技術研究会 カンファレンス4DFF2021(online 10/28, 29)

### ■技術講習会・シンポジウム

ICAI2021&Print4Fab国際会議(幕張⇒online) 第85回技術講習会(online 7/13-16, 19)、日本画像学会秋・技術講習会(online 12/9) 関西シンポジウム(online 12/10),

### ■書籍

「画像処理」「有機半導体」の編集(出版社編集方針見直しによる遅延)

### ■領布・販売

標準キャリア領布(トナー技術部会)

### 3. 企画委員会

### 2021年度活動実績

#### ◆イメージングカフェ

- 今年度は全てオンライン開催
- 2021/4～2022/3の期間で計6回(累計93回)実施
- 延べ参加者96名(会員78名/非会員18名) ※委員・講師含まず

#### ◆新企画:イメージングテーブル

- 「技術者が気軽に参加できる雑談の場」をコンセプトとし、参加費無料で開催
- 2021年12月にスタートし、計2回実施
- 延べ参加者24名(全て会員)

「イメージングテーブル」第1回の様子



#### ◆関東シンポジウム

- 他イベント日程との兼ね合いで今年度は開催見送り

## 4. コンファレンス委員会

### 2021年度活動実績

#### ■ 2021年 年次大会 (Imaging Conference JAPAN 2021:ICJ2021)

[日本画像学会研究討論会(第128回): 日本画像学会年次大会]

- ・ Printing for Fabrication 2021 by IS&T およびICAI2021 by FIS(画像関連学会連合会) 合同の国際会議の中で2021年10月4日～8日に開催した。
- ・ 対面開催予定であったが、COVID-19の影響が避けられない見通しのため、急遽完全オンラインに変更した。
- ・ ICAI: 発表数76(目標50) 登録参加者数98(目標100) 海外からの発表 約20%(目標20%) → 目標をほぼ満たし、まずまずの結果。

## 5 事業委員会

## 2021年度活動実績

## ■ 活動報告

- **第85回技術講習会** 「困難に打ち克つための画像技術の基礎と応用」  
 日時：2021年7月13日、14日 [EP] 15日、16日 [IJ] 19日 [シミュレーション]  
 会場：Zoomによるオンライン開催（講師、事務局は「ユニコムさがみはら」で運営）  
 参加者数：81名（63）（ ）内は昨年実績  
 正会員・維持会員：72名※(56)、非会員：7名(5)、学生：2名(2)

※うち2名は応用講座のみ

## &lt;トピックス&gt;

- ・昨年より参加人数増加（ただしコロナ前の110-120人には回復せず）
  - ・昨年開催できなかったシミュレーション講習の復活
  - ・講習の有意性・満足度は良好な評価（アンケート結果より）
  - ・予稿集、講義資料の電子化、事前配信は好評
- **秋のチュートリアル** 「疑問・悩みにとことんお答えします」  
 日時：2021年12月9日（Zoomによる リモートトライアル開催）  
 ・リモートでチュートリアル講習が可能であることを検証（講師、参加者が顔出し参加）  
 来年度の技術講習会（ハイブリッド開催を予定）にフィードバックする



## 第2号議案 事前投票結果

第2号議案  
2021年度事業報告

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成			
反対			
<b>更新予定</b>			
委任先	議長	332	
	その他会員	1	
	合計	333	

# 2022年度 定時総会 進行次第

(2022年6月22日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2022年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2021年度事業報告(審議・承認) 中山
6. **第3号議案:2021年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居**
7. 第4号議案:2022年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



第12期（通算65期）  
決算報告書

2021年度 財務報告  
（2021年度決算案）

財務委員会

一般社団法人 日本画像学会

東京都中野区本町2-9-5  
東京工芸大学内

## 収支概要

科目	当初予算	年度末決算額	差異(対予算)	増減
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	2,900	587	-2,313	(-_-)
会費収入	19,500,000	18,273,919	-1,226,081	(>_<)
事業収入	24,050,000	9,267,458	-14,782,542	(>_<)
受取利息収入	300	230	-70	(-_-)
その他の事業活動収入	0	22,254	22,254	(^0^)
事業活動収入計	43,553,200	27,564,448	-15,988,752	(>_<)
2. 事業活動支出				
事業費支出	31,370,000	14,851,040	-16,518,960	(^0^)
管理費支出	12,830,000	11,269,338	-1,560,662	(^0^)
法人税等	70,000	70,000	0	(-_-)
その他の事業活動支出	0	3,550	3,550	(-_-)
事業活動支出計	44,270,000	26,193,928	-18,076,072	(^0^)
事業活動収支差額	-716,800	1,370,520	2,087,320	(^0^)
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入	0	0	0	(-_-)
2. 投資活動支出	0	0	0	(-_-)
特定資産支出	0	0	0	(-_-)
什器備品支出	0	0	0	(-_-)
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入	0	0	0	(-_-)
2. 財務活動支出	0	0	0	(-_-)
IV 予備費支出	0	0	0	(-_-)
当期収支差額	-716,800	1,370,520	2,087,320	(^0^)

## 財務委員会

## 2021年度決算報告

第3号議案  
2021年度決算案・監査結果

## 事業活動収入詳細

科目	当初予算	年度末決算額	差異(対予算)	増減
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	2,900	587	-2,313	(-_-)
会費収入	19,500,000	18,273,919	-1,226,081	(>_<)
正会員会費収入 (A)	6,000,000	5,230,375	-769,625	(>_<)
維持会員会費収入	13,000,000	12,790,624	-209,376	(>_<)
4 D F F 会費収入	500,000	252,920	-247,080	(>_<)
事業収入	24,050,000	9,267,458	-14,782,542	(>_<)
研討・研究会参加費 (B)	3,000,000	2,403,500	-596,500	(>_<)
4DFF研究会収入		422,000	422,000	(^0^)
講習会参加費 (C)	1,800,000	1,897,000	97,000	(^0^)
試験標準品頒布収入 (D)	1,500,000	1,403,300	-96,700	(>_<)
予稿集・技術資料頒布収入	50,000	81,110	31,110	(^0^)
出版物頒布収入	100,000	0	-100,000	(>_<)
会誌購読・BN頒布収入	800,000	688,140	-111,860	(>_<)
広告収入	800,000	390,000	-410,000	(>_<)
雑収入	0	0	0	(-_-)
国際会議関係収入 (E)	16,000,000	1,982,408	-14,017,592	(>_<)
受取利息収入	300	230	-70	(-_-)
その他の事業活動収入	0	22,254	22,254	(^0^)
事業活動収入計	43,553,200	27,564,448	-15,988,752	(>_<)

- (A) 正会員減止まらず  
 (B) 研討・研究会参加費ほぼ予算どおり復調傾向  
 (C) 講習会参加費収入予算超過復調傾向  
 (D) 標準キャリア頒布堅調  
 (E) 国際会議完全オンライン化で規模縮小

一般社団法人

isj

日本画像学会

The Imaging Society of Japan

## 事業活動支出詳細

科目	当初予算	年度末決算額	差異(対予算)	増減
2. 事業活動支出				
事業費支出	31,370,000	14,851,040	-16,518,960	(^0^)
会誌発行費 ①	7,500,000	8,767,826	1,267,826	(><)
4DFFジャーナル発行費	200,000	0	-200,000	(^0^)
研討・研究会開催費 ②	2,500,000	1,066,820	-1,433,180	(^0^)
講習会開催費	1,500,000	1,207,008	-292,992	(^0^)
試験標準品作製費	700,000	590,700	-109,300	(^0^)
出版物作製費	200,000	0	-200,000	(^0^)
デジタル化費 ③	800,000	1,241,117	441,117	(><)
学会賞費	660,000	344,563	-315,437	(^0^)
諸委員会費 ④	500,000	0	-500,000	(^0^)
理事会・評議員会・総会費	400,000	31,890	-368,110	(^0^)
国際会議関係支出 ⑤	16,000,000	1,078,000	-14,922,000	(^0^)
4DFF研究会支出	160,000	523,116	363,116	(><)
国際交流支出	250,000	0	-250,000	(^0^)
管理費支出	12,830,000	11,269,338	-1,560,662	(^0^)
通信・運搬費	650,000	308,495	-341,505	(^0^)
事務費	1,300,000	1,224,905	-75,095	(^0^)
事務員費	10,500,000	9,611,470	-888,530	(^0^)
事務機械化費	100,000	0	-100,000	(^0^)
雑費	120,000	63,968	-56,032	(^0^)
租税公課	0	1,000	1,000	(- -)
管理諸費	60,000	59,500	-500	(- -)
事務員退職給付引当金	100,000	0	-100,000	(^0^)
法人税等	70,000	70,000	0	(- -)
その他の事業活動支出	0	3,550	3,550	(- -)
事業活動支出計	44,270,000	26,193,928	-18,076,072	(^0^)

一般社団法人



日本画像学会

The Imaging Society of Japan

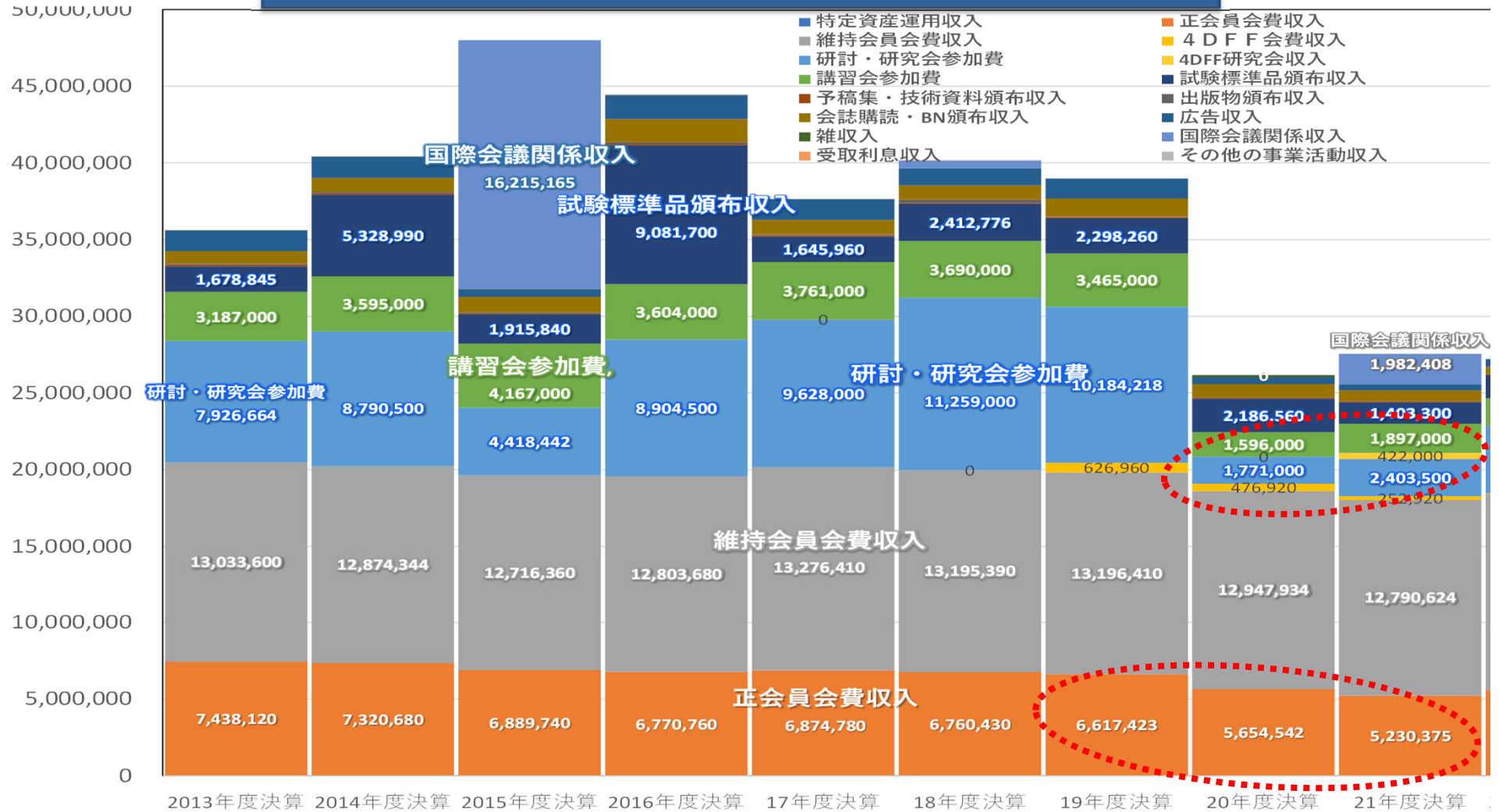
① 会誌増頁増カラー。② 研究会、講習会リモート開催により会場費減。③ デジタル化費増Zoom等④ 諸委員会、理事会等リモート開催⑤ 国際会議オンライン化により規模縮小

# 財務委員会

# 事業活動収支状況

# 第3号議案 2021年度決算案・監査結果

## 事業収入の推移

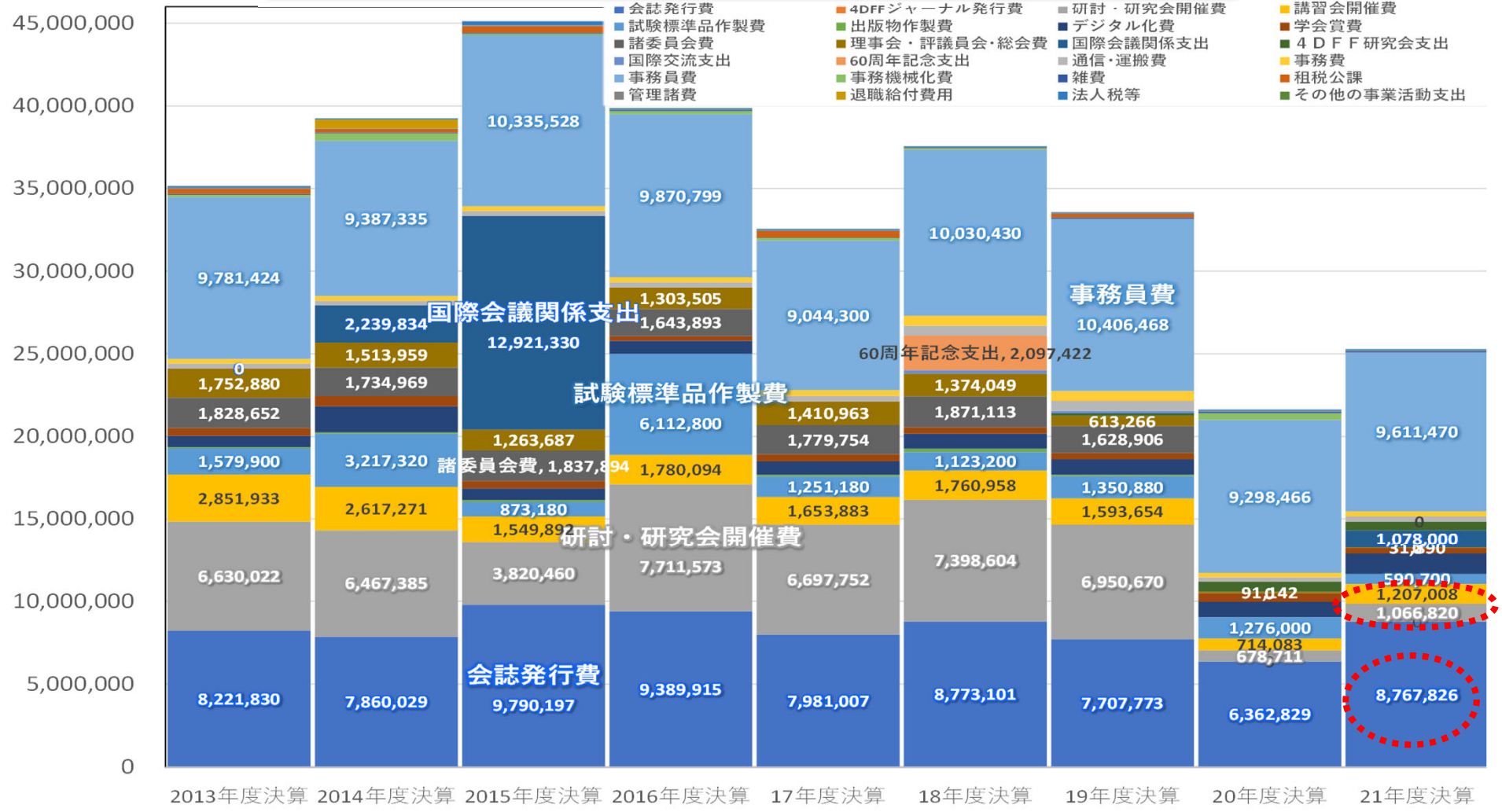


# 財務委員会

# 事業活動収支状況

# 第3号議案 2021年度決算案・監査結果

## 事業支出の推移



・会誌発行費増(増頁増カラー)、・イベント開催費用回復傾向、オンライン化による経費軽減状態を継続

# 監査委員会

# 2021年度監事監査報告

第3号議案  
2021年度決算案・監査結果

監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度の業務及び会計について監査を実施致しました。

その結果について次のとおり報告致します。

## 1. 監査方法の概要

監事は、理事会や重要な会議に出席するほか、日本画像学会の関係者から事業の報告を聴取し、重要な書類の回付を受け学会における業務及び財産の状況を調査致しました。また、日本画像学会の関係者および財務委員会からの報告および説明を受け、監査委員会を実施して、収支決算書および貸借対照表について監査を実施致しました。

## 2. 監査結果

### 2.1 業務監査の結果

日本画像学会の業務については、日本画像学会の年度計画、事業計画等に基づき適正に運営されていると認めます。

### 2.2 会計監査の結果

2021年5月20日に監査委員会を実施した結果、服部財務委員長より説明があった、2021年度日本画像学会収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は、必要な事項を正しく示していると認めます。

2022年6月22日

一般社団法人 日本画像学会監事

中居 達 寺尾 博年



## 第3号議案 事前投票結果

第3号議案  
2021年度決算案・監査結果

事前投票結果			
	第1号議案	第2号議案	第3号議案
賛成	更新予定		41
反対			1
委任先	議長	332	
	その他会員	1	
	合計	333	

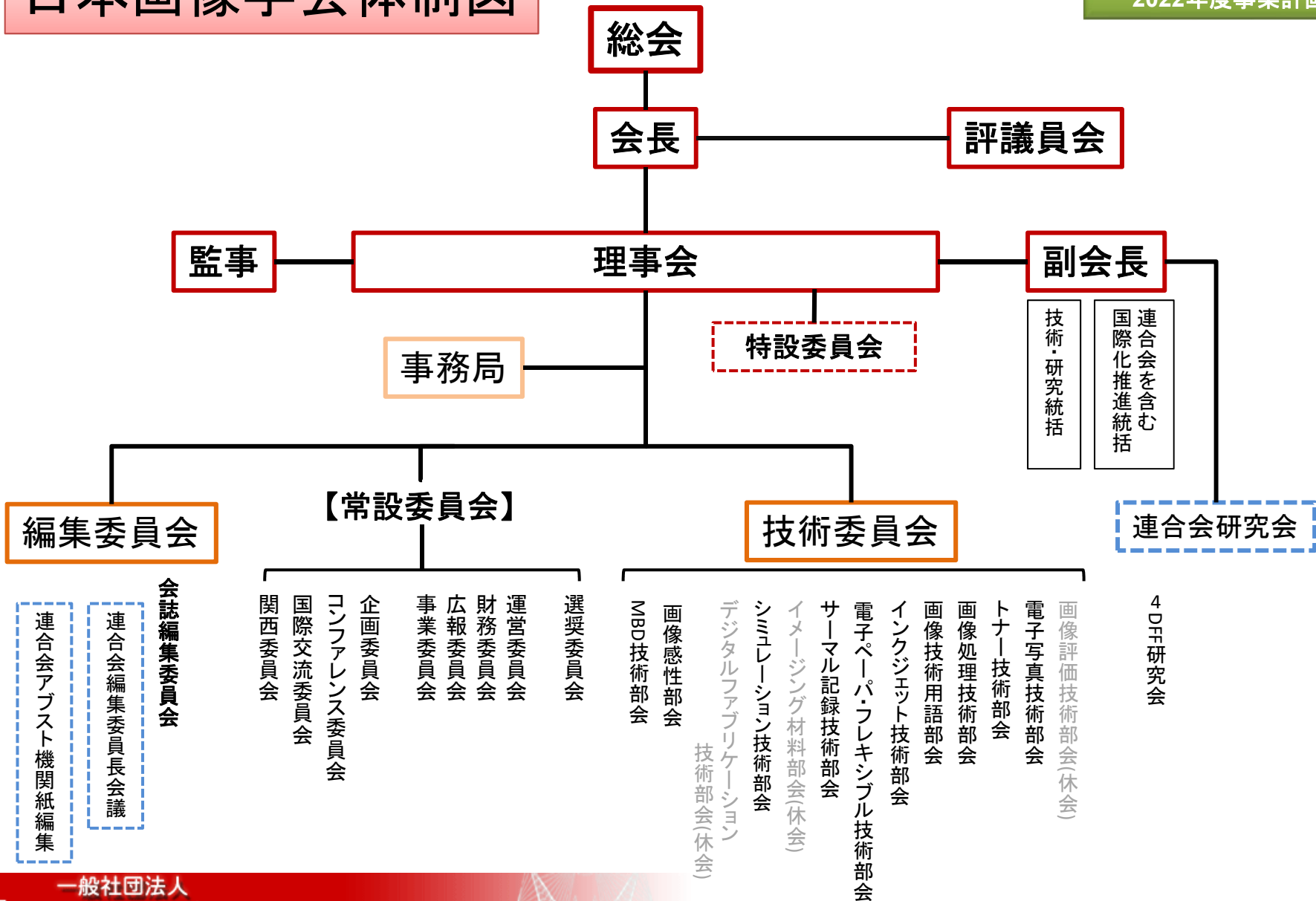
# 2022年度 定時総会 進行次第

(2022年6月22日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2022年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2021年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2021年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2022年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



# 日本画像学会体制図



会長 佐藤利文	執行部会
副会長 小林範久 藤井正彦	事務局長: 竹内達夫 運営委員長: 中山信行

赤字: 新任役員  
青字: 新任役員

【理事会】

<b>理事(26名)</b>	
秋山 勇治(キヤノン)	新井 啓之(日本工業大学)
飯野 裕明(東京工業大学)	石本 文治(セイコーエプソン)
梅津 信二郎(早稲田大)	面谷 信(東京電機大)
加川 哲哉(コニカミノルタ)	河野 信明(キヤノン)
木崎 宏恵(三菱ケミカル)	北野 賀久(富士フイルムビジネスイノベーション)
木下 周三(三菱製紙)	坂口 雅敏(ブラザー工業)
高橋 茂樹(山形大学)	田中 作白(京セラドキュメントソリューションズ)
寺尾 博年(アルプルアルパイン)	内藤 裕義(大阪府立大学)
直井 宏夫(シャープ)	中井 洋志(リコー)
中山 信行(東京工芸大学)	八角 邦夫(ミマキエンジニアリング)
藤井 雅彦(慶應大学)	前田 秀一(東海大学)
南 毅拡(王子ホールディングス)	宮戸 健志(富士フイルム)
宮本 篤生(巴川製紙所)	渡辺 猛(東芝テック)

<b>監事</b>	
中居 達(王子製紙)	服部 好弘(元コニカミノルタ)

<b>幹事</b>	
朝武 敦(コニカミノルタ)	宮本 栄一(京セラドキュメントソリューションズ)
山崎 弘(山崎国際コンサルティング)	

編集委員会

総数21名

画像関連連合会合同誌

委員長: **宮本栄一**  
副委員長: **秋山勇治**、水野知章、**新井啓之**  
編集幹事: **秋山勇治**

連合会編集委員長会議  
アブストラクト集編集委員会

赤字: 新任委員長

【常設委員会】

選奨委員会	委員長: <b>飯野裕明</b>	全17名
運営委員会	委員長: 中山信行	全10名
広報委員会	委員長: 河野信明	全6名
事業委員会	委員長: <b>木崎宏恵</b>	全14名
財務委員会	委員長: <b>南 毅 拓</b>	全4名
コンファレンス委員会	委員長: 三矢輝章	全11名
企画委員会	委員長: 中井洋志	全9名
国際交流委員会	委員長: <b>朝武敦</b>	全6名
関西委員会	委員長: 田中作白	全14名

## 技術委員会

委員長:小林範久  
副委員長:藤井雅彦  
副委員長:前田秀一

総数139名

画像評価技術部会(休会中)	主査:-	
電子写真技術部会	主査:吉田 健	全15名
トナー技術部会	主査:多田達也	全12名
画像処理技術部会	主査:新井啓之	全6名
画像技術用語部	主査:坂谷一巨	全12名
インクジェット技術部会	主査:藤井雅彦	全15名
電子ペーパー・フレキシブル技術部会	主査:八代 徹	全12名
サーマル記録技術部会	主査:寺尾博年	全9名
イメージング材料部会(休会中)	主査:-	
シミュレーション技術部会	主査:門永雅史	全12名
デジタルファブリケーション技術部会	主査:-	
画像感性部会	主査:鎰谷賢治	全15名
MBD技術部会	主査:山岸義弘	全16名

赤字:新任委員会/委員長

# 1 編集委員会

# 2022年度活動計画

## ■組織

- ✓ 編集委員会
  - 定期委員会開催（年6回）
  - 学会誌編集，校正
  - 編集，査読プロセス改善  
→査読マニュアルの整備
- ✓ 査読体制の強化の継続
  - 主に技術・学術面と，主に体裁・要件を審査する2名査読者体制
  - 技術面の査読候補者の拡充
- ✓ 会誌電子配信の充実継続
  - 海外在住会員，シニア・学生会員
- ✓ 学会内他組織との連携
  - ICJ（ICAI）実行委員会との連携継続
  - 4DFF論文誌発行協力の継続

## ■学会誌

- ✓ 年6冊の定時発行
  - ICJ発表からの論文勧誘の促進継続
  - 年1回の英文クラスタ論文特集号
  - 特集記事（IT/AT）の充実
  - Imaging Highlight，教育講座，研究室訪問の掲載を継続

## ■その他の活動

- ✓ フリートーキング開催
  - 第40回，第41回を企画，開催予定
- ✓ ICJ編集委員長賞，学会誌論文賞

## 2 技術委員会

# 2022年度活動計画

技術研究会の開催

技術交流会の推進

書籍:「画像処理」「有機半導体」の出版

ICJ2022 オーガナイズドシンポジウム(部会企画) 開催

活動予定

- ・主査会議、技術委員会総会の開催
- ・HPの充実
- ・技術講習会(春・秋)、関東・関西シンポジウムへの協力
- ・複写機遺産認定事業の継続



### 3. 企画委員会

## 2022年度活動計画

- ◆ イメージングカフェ
  - 1回/2ヶ月のペースで計5回開催予定
  - 引き続きオンライン形式をベースとするが、リアル開催が可能となった場合はハイブリッド形式を想定
- ◆ イメージングテーブル
  - イメージングカフェと交互に開催予定(オンライン限定)
  - 内容は参加者の声を聞きながら柔軟に対応する
- ◆ 2022年度シンポジウムの企画運営
  - 各技術部会による一年間の振り返りと、近年の技術トピック紹介を主とした内容で12月に開催予定



## 4. コンファレンス委員会

### 2022年度活動計画

#### ■ 2022年 年次大会 (Imaging Conference JAPAN 2022:ICJ2022)

[日本画像学会研究討論会(第130回): 日本画像学会年次大会]

- ・ <計 画> 開催日:2022年6月22日(水)~24日(金)(完全オンライン)
- ・ <改 革> 幹事会社制の廃止(オンラインから段階的に難易度を上げる戦略とする)
- ・ <コンセプト(スローガン)> 画像が拓く豊かな共奏社会の創造(Enriched Synergic Society Powered by Imaging)
- ・ <目標> 一般講演45件(うち、ポスター10件)、招待講演5件、登録参加者数:250
- ・ <実績> 一般講演37件(うち、ポスター8件)、キーノート1件、招待/記念講演10件



## 5 事業委員会

## 2022年度活動計画

- これからも若手／中堅技術者育成に繋がる活動を行います！！
- 第86回技術講習会 2022年7月4日（月）～8日（金）  
サブタイトル「困難に打ち克つための画像技術の基礎と応用」
  - ・ハイブリッド開催を予定（リアル会場は「ユニコムさがみはら」）
  - ・『基礎知識の習得と深化』で実務に直轄できるプログラム作り、講習内容の充実
  - ・中堅者を対象とした技術動向、将来技術展望、展示会社イベントも盛り込む
  - ・各社、各大学におかれましては、講師の派遣協力をお願いいたします（講師依頼中）
  - ・シミュレーション講習も開催予定（シミュレーション部会と連携）
- チュートリアル2022 2022年11月～12月に開催予定
  - ・講師と直接議論しながらの特別セッション
  - ・『電子写真技術』、『インクジェット技術』、『シミュレーション』の3分野での実施を検討中
  - ・開催方法（リアル/オンライン/ハイブリッド）についてはコロナの状況に応じて決定
  - ・定員は各講習15名程度



# 2022年度 財務計画

財務委員会



## 2022年度予算編成方針

- ・2021年度はコロナ禍のもとで、計画されたイベントはすべて実行でき、オンライン基調での収支感が把握できた。
- ・2022年度は、コロナ禍後初の年次大会春秋開催年となる。2021年度実績と過年度からの推移を見定め見通しのきく予算編成を行った。
- ・オンライン化は、新型コロナウイルス感染対策の意味だけでなく、主催者、参加者共に多くのメリットのある手段として、今後も活用していく。  
(対面イベント再開は、社会状況に合わせた安全な対面併用の運営を都度検討。)
- \* 収入の部では、会費収入の漸減傾向を反映した。研究会・研究会参加費は、前年の国際会議相当分を年次大会に置き換えて加算した。会費収入減は、将来の学会運営に支障をきたす問題であり、今後議論を進めていく。
- \* 支出の部では、オンライン利用で激減した会場費、会議費、運搬費等を実績に合わせて減額計上した。会誌発行費については、諸物資高騰の動向を反映し増額計上。
- \* 国際会議準備資金積み立ては今年度も見送る。



## 財務委員会

## 2022年度予算

第4号議案  
2022年度 事業計画・予算

## 収支予算概要

科 目	2022年度当初予算	2021年度決算	2021年度当初予算	21予算との差異
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
特 定 資 産 運 用 収 入	2,500	587	2,900	-400
会 費 収 入 (A)	18,450,000	18,273,919	19,500,000	-1,050,000
事 業 収 入 (B)	8,760,000	9,267,458	24,050,000	-15,290,000
受 取 利 息 収 入	0	230	300	-300
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	0	22,254	0	0
事業活動収入計	27,212,500	27,564,448	43,553,200	-16,340,700
2. 事業活動支出				
事 業 費 支 出 (B)	14,120,000	14,851,040	31,370,000	-17,250,000
管 理 費 支 出	12,010,000	11,269,338	12,830,000	-820,000
法 人 税 等 支 出	70,000	70,000	70,000	0
そ の 他 の 事 業 活 動 支 出	0	3,550	0	0
事業活動支出計	26,200,000	26,193,928	44,270,000	-18,070,000
事業活動収支差額 (C)	1,012,500	1,370,520	-716,800	1,729,300

- (A) 会費収入減傾向を反映  
(B) 事業収支は平常年オンラインで試算  
(C) 収支上は101万円の黒字予算

## 財務委員会

## 2022年度予算

第4号議案  
2022年度 事業計画・予算

## 事業収入詳細

科 目	2022年度当初予算	2021年度決算	2021年度当初予算	21予算との差異
1. 事業活動収入				
特定資産運用収入	2,500	587	2,900	-400
会費収入	18,450,000	18,273,919	19,500,000	-1,050,000
正会員会費収入 <b>Ⓐ</b>	5,600,000	5,230,375	6,000,000	-400,000
維持会員会費収入	12,800,000	12,790,624	13,000,000	-200,000
4 D F F 会費収入	50,000	252,920	500,000	-450,000
事業収入	8,760,000	9,267,458	24,050,000	-15,290,000
研討・研究会参加費 <b>Ⓑ</b>	4,400,000	2,403,500	3,000,000	1,400,000
講習会参加費	1,800,000	1,897,000	1,800,000	0
試験標準品頒布収入	1,500,000	1,403,300	1,500,000	0
予稿集・技術資料頒布収入	50,000	81,110	50,000	0
出版物頒布収入	10,000	0	100,000	-90,000
会誌購読・B N 頒布収入	500,000	688,140	800,000	-300,000
広告収入	500,000	390,000	800,000	-300,000
雑収入	0	0	0	0
国際会議関係収入 <b>Ⓒ</b>	0	1,982,408	16,000,000	-16,000,000
4 D F F 研究会収入		422,000		
受取利息収入	0	230	300	-300
その他の事業活動収入	0	22,254	0	0
その他の事業活動収入	0	22,254	0	0
事業活動収入計	27,212,500	27,564,448	43,553,200	-16,340,700

一般社団法人


**日本画像学会**  
 The Imaging Society of Japan

- Ⓐ 会員減実態の反映十年次大会開催での新規入会期待  
 Ⓑ 研究会講習会オンライン一部ハイブリッド開催を想定  
 Ⓒ 国際会議開催予算は無し

## 財務委員会

## 2022年度予算

第4号議案  
2022年度 事業計画・予算

## 事業支出詳細①

科 目	2022年度当初予算	2021年度決算	2021年度当初予算	21予算との差異
2. 事業活動支出				
事業費支出	14,120,000	14,851,040	31,370,000	-17,250,000
会誌発行費 <b>Ⓐ</b>	7,800,000	8,767,826	7,500,000	300,000
4 D F F ジャーナル発行費	100,000	0	200,000	-100,000
検討・研究会開催費 <b>Ⓑ</b>	2,500,000	1,066,820	2,500,000	0
講習会開催費	1,000,000	1,207,008	1,500,000	-500,000
試験標準品作製費	700,000	590,700	700,000	0
出版物作製費	200,000	0	200,000	0
デジタル化費	800,000	1,241,117	800,000	0
学会賞費	660,000	344,563	660,000	0
諸委員会費 <b>Ⓒ</b>	100,000	0	500,000	-400,000
理事会・評議員会・総会費	50,000	31,890	400,000	-350,000
国際会議関係支出	0	1,078,000	16,000,000	-16,000,000
4 D F F 研究会支出	160,000	523,116	160,000	0
国際交流費	50,000	0	250,000	-200,000

一般社団法人



日本画像学会

The Imaging Society of Japan

- Ⓐ会誌発行費増諸物価高騰に備える  
 Ⓑ検討・研究会、講習会費 オンライン一部併用想定  
 Ⓒ委員会費、諸会議費 オンライン想定、対面も可

## 財務委員会

## 2022年度予算

第4号議案  
2022年度 事業計画・予算

## 事業支出詳細②

科 目	2022年度当初予算	2021年度決算	2021年度当初予算	21予算との差異
2. 事業活動支出				
管 理 費 支 出	12,010,000	11,269,338	12,830,000	-820,000
通 信 運 搬 費	① 450,000	308,495	650,000	-200,000
事 務 費	1,300,000	1,224,905	1,300,000	0
事 務 員 費	② 9,800,000	9,611,470	10,500,000	-700,000
事 務 機 械 化 費	200,000	0	100,000	100,000
雑 費	100,000	63,968	120,000	-20,000
租 税 公 課	③ 0	1,000	0	0
管 理 諸 費	60,000	59,500	60,000	0
退 職 給 付 費 用	100,000	0	100,000	0
法 人 税 等 支 出	70,000	70,000	70,000	0
そ の 他 の 事 業 活 動 支 出	0	3,550	0	0
事業活動支出計	26,200,000	26,193,928	44,270,000	-18,070,000
事業活動収支差額	1,012,500	1,370,520	-716,800	1,729,300

- ① 通信運搬費 対面/オンライン併用あり想定  
 ② 事務員費 対面イベント増に備える  
 ③ 今年度租税公課なし

一般社団法人

isj

日本画像学会

The Imaging Society of Japan

## 投資活動, 財務活動収支

科 目	2022年度当初予算	2021年度決算	2021年度当初予算	21予算との差異
Ⅱ 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出 (A)	0	0	0	0
器具備品取得支出 (B)	0	0	0	0
器具備品購入支出	0	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	1,012,500	1,370,520	-716,800	1,729,300

①投資活動支出: 国際会議準備基金積み増しは実施しない。

②器具備品費取得支出: 新規固定資産導入は見送り

# 2022年度 定時総会 進行次第

(2022年6月22日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2022年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2021年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2021年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2022年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞



## 【事前投票でのご意見・ご要望(1/2)】

### ■ 学会運営

- ✓ 工芸大学から2名の選出となるが規定に沿うのでしょうか？ C, R, X, KMが2名は過去の会合で決定され、さらに、それは1名に減らしたい案内もありました。発言に逆行します。会長は所属にカウントしないとの提案だとしたら、リコーは副会長以外に2名にすべきです。議論を元に戻し、所属2名を1名にする方針が以前出たのであるから、その路線を守るべきで、状況に応じて、規定の解釈を変えるのは可成り問題です。この意見はby nameでの指摘ではなく所属に対しての意見であり、企業代表を一名に減らすのに、公平すぎます。今回の決定内容を各理事はどう判断したいか、またされているのかとともに聞きたいと思います。なお、この場にてお詫び申し上げます。
- ✓ 会員数の減少とその対応策についてどう思いますか？シニア会員増との記載を見ましたが、若手の会員増と継続してもらえる学会運営が必要ではないでしょうか？ 国際会議も意義はあるのですが、小さい学会が企画運営していく必要性を再度考えてみてはいかがでしょうか？身の丈にあった学会運営とはどのようなものか一度お考え下さい。昨年と同じ企画ではジリ貧なのではありませんか？皆様の英知を期待します。
- ✓ 学会での発表を非会員でも実施できるようにして欲しい。(参加料を徴収する形) 所属部署で代表者が維持会員になっており更新しています。発表者が会員になるには、社長への稟議申請が必要となり一回の発表のために大変な労力となっています。
- ✓ コロナ禍の大変な時期いろいろとご尽力くださり有り難うございます。

更新予定

## 【事前投票でのご意見・ご要望(2/2)】

### ■ イベント/企画

- ✓ オンラインを活用して、一層充実したイベントがこれまで以上に活発に開催されることを期待します。
  - ✓ ICAIが安全に現地開催されることを期待しております。
  - ✓ 自動車の運転支援に関する、画像処理を取り上げて頂きたい。
  - ✓ 電子写真技術の今後の発展性について討議して欲しい。
  - ✓ オンラインセミナーの充実
  - ✓ フリートーキングの回数を
  - ✓ 他学会との個別化を図り
  - ✓ 早く世の中が穏やかにな
- を祈念しております。

更新予定

### ■ 学会誌

- ✓ 学会誌の意義は日本語で最新かつ有益な情報を読むことができることにもあると思います。一方で、IFを上げるためにも英文号を作って国際的な引用数を増やそうという点でも重要というようにも認識しています。そこで、英文記事についても、日本語である程度の内容が読めるようにしていただくと大変ありがたいです。全文でなくとも、A4で1-2ページくらいのExtended abstractを日本語でつけるというだけでもその記事を読もうという気になるかもしれません。ご検討いただければ幸いです。(紙学会誌ですと機械翻訳もかけづらいですし。)

# 2022年度 定時総会 進行次第

(2022年6月22日(水) 13:00～13:50)

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 定足数の確認・報告、議長選出
4. 第1号議案:2022年度役員案(審議・承認) 中山
5. 第2号議案:2021年度事業報告(審議・承認) 中山
6. 第3号議案:2021年度決算案・監査結果(審議・承認) 服部・中居
7. 第4号議案:2022年度事業計画/財務計画/年間予定(報告) 中山・服部
8. 質疑応答
9. 閉会の辞

